

平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点推進事業			担当部局	医薬食品局		作成責任者		
事業開始年度	平成26年度	事業終了(予定)年度	平成27年度	担当課室	総務課		課長 鎌田 光明		
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-6-3 医薬品の適正使用を推進すること				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定) 健康・医療戦略(平成25年6月14日関係大臣申合せ)				
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地域の実情に沿ったセルフメディケーションや在宅医療に関するモデル事業を実施し、薬局・薬剤師を活用した健康情報の拠点作りを推進する。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	実施に当たっては都道府県において、セルフメディケーション推進のための実施計画書を策定し、計画に沿って、健康支援や相談など、地域に密着した薬局・薬剤師の健康相談拠点のモデル事業を実施する。 【基本メニュー】(以下のメニューから選択) ①薬の飲み方や使い方など医薬品の適正使用に関する相談②食生活(食品・健康食品)に関する健康サポート③血圧計などの検査機器を用いた健康サポート④特定健診、がん検診等の受診率向上の取組⑤心の健康(うつ病・自殺対策等)サポート⑥薬物やアルコールの乱用・依存を防止するための健康サポート⑦禁煙サポート⑧飲み残しや飲み忘れ防止等の高齢者・要介護者に対する服薬管理⑨在宅医療に関するアドバイス⑩介護予防に関するサポート⑪その他、本事業の目的達成に必要と認められるメニュー								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額(単位:百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	239	223	0		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計		0	0	239	223	0		
執行額		-	-	221	-				
執行率(%)		-	-	92%	-				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度	
	できる限り多くの自治体において薬局・薬剤師の健康相談拠点のモデル事業を実施し、多くのモデルとなる事例を収集する。	モデル事業実施自治体(都道府県)数	成果実績	件	-	-	47	-	
			目標値	件	-	-	47	47	
			達成度	%	-	-	100%	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	参加自治体(都道府県)数	活動実績	件	-	-	47	-		
		当初見込み	件	-	-	47	47		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	X:補助金執行額(千円)/ Y:補助事業者件数(件)	単位当たりコスト	千円	-	-	4,711	4,752		
		計算式	X/Y	-	-	221,405/47	223,347/47		
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	衛生関係者指導者養成等委託費	223	0	予算の組み替えを行ったため廃止					
計	223	0							

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	セルフメディケーションや在宅医療の推進の寄与を目的とする事業であることから、国民や社会のニーズを的確に反映しているものである。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	健康支援や相談など、地域に密着した薬局・薬剤師の健康相談拠点のモデル的に構築する事業であり、国において整備要綱等を定め、実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	セルフメディケーションや在宅医療の推進に寄与する事業で、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	地域の実情に沿ったセルフメディケーションや在宅医療に関するモデル事業を実施するものであり、委託先として妥当である。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	本事業に必要なものに限定されており、単位あたりのコストは妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	費目・使途は、事業実施に必要なものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	実施要綱を毎年度精査して、効率的な実施に努めている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	すべての都道府県においてモデル事業を実施でき、多くのモデルとなる事例を収集できたため、成果実績は成果目標に見合ったものとなっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	参加自治体数は、当初見込み(47都道府県)を達成した実績となっているため、活動実績は見込みに見合ったものとなっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	相談窓口の設置、研修機会の確保、住民へのサービスの提供等が当該事業の目的に沿って行われている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定)において、「薬局を地域に密着した健康情報の拠点として、一般用医薬品等の適正な使用に関する助言や健康に関する相談、情報提供を行う等、セルフメディケーションの推進のために薬局・薬剤師の活用を促進する。」とされており、本事業は当該戦略に基づくものである。また、平成26年度においては、すべての都道府県においてモデル事業を実施することができ、薬局・薬剤師を活用した健康情報の拠点作りを推進を図ることができた。			
	改善の方向性	平成27年度においては、平成26年度の実施結果を踏まえ、地域における先駆的な取組を充実・発展させることにより、地域住民の健康増進等に寄与することを明らかにし、さらにその成果を広く活用していく。			
外部有識者の所見					
薬局の営業努力に負うべき事業内容ではないか。薬局の市場原理に任せることも考えられ、またどれ程のインセンティブがあるのかも疑問。この事業以外で、目的の達成を期する工夫はできないか。(増田)					
行政事業レビュー推進チームの所見					
抜本的な改善	外部有識者の所見を踏まえ、当該事業のやり方以外で、目的を達成するための工夫が出来ないか検討すること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
廃止	外部有識者の所見を踏まえ、事業内容を精査した結果、平成28年度新規要求事項と同種の事業となる本事業については平成27年度限りで廃止することとした。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	新26-016		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)	<div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 200px; margin: 0 auto; padding: 5px;">厚生労働省</div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓ 【補助】</div> <div style="border: 1px solid black; width: 200px; margin: 0 auto; padding: 5px;">A 都道府県(47) 221百万円</div> <p>【都道府県の実施計画書に基づき、健康支援や相談などを実施】</p> </div>				
	A.青森県				
費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	費目	使途	金額 (百万円)	費目	金額 (百万円)
	委託費	血圧計を用いた健康サポート業務、介護予防に関する健康サポート業務(青森県薬剤師会)	7.5		
	計		7.5	計	0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	青森県	血圧計などの検査機器を用いた健康サポート、介護予防に関するサポート	7.5	-	-
2	大分県	血圧計などの検査機器を用いた健康サポート、薬の飲み方や使い方など医薬品の適正使用に関する相談、飲み残しや飲み忘れ防止等の高齢者・要介護者に対する服薬管理、在宅医療に関するアドバイス	6.1	-	-
3	山口県	薬の飲み方や使い方など医薬品の適正使用に関する相談、食生活(食品・健康食品)に関する健康サポート、飲み残しや飲み忘れ防止等の高齢者・要介護者に対する服薬管理、在宅医療に関するアドバイス	6	-	-
4	高知県	医薬連携・セルフメディケーション推進事業、健康支援・医薬連携推進拠点整備及び担い手養成事業	6	-	-
5	栃木県	心の健康(うつ病・自殺対策等)サポート、禁煙サポート、電子お薬手帳体制の整備事業	5.2	-	-
6	福岡県	薬の飲み方や使い方など医薬品の適正使用に関する相談、食生活(食品・健康食品)に関する健康サポート、禁煙サポート、在宅医療に関するアドバイス	5.2	-	-
7	北海道	薬の飲み方や使い方など医薬品の適正使用に関する相談、飲み残しや飲み忘れ防止等の高齢者・要介護者に対する服薬管理、在宅医療に関するアドバイス、介護予防に関するサポート	5.1	-	-
8	秋田県	検査機器を用いた健康サポート、飲み残しや飲み忘れ防止等の高齢者・要介護者に対する服薬管理	5.1	-	-
9	神奈川県	飲み残しや飲み忘れ防止等の高齢者・要介護者に対する服薬管理、特定健診、がん検診等の受診率向上の取組、飲み残しや飲み忘れ防止等の高齢者・要介護者に対する服薬管理	5.1	-	-
10	長野県	その他(薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点推進研修)、血圧計等を用いた健康サポート、禁煙サポート、飲み残しや飲み忘れ防止等の高齢者・要介護者に対する服薬管理	5.1	-	-
11	三重県	薬の飲み方や使い方など医薬品の適正使用に関する相談、心の健康(うつ病・自殺対策等)サポート、薬物やアルコールの乱用・依存を防止するための健康サポート、禁煙サポート	5.1	-	-
12	滋賀県	薬の飲み方や使い方など医薬品の適正使用に関する相談、禁煙サポート、飲み残しや飲み忘れ防止等の高齢者・要介護者に対する服薬管理、在宅医療に関するアドバイス	5.1	-	-
13	大阪府	その他本事業の目的達成に必要なと認められるメニュー、血圧計などの検査機器を用いた健康サポート、特定健診、がん検診等の受診率向上の取組	5.1	-	-
14	兵庫県	薬局における血糖値及びHbA1cの測定及び栄養指導事業	5.1	-	-
15	和歌山県	検査機器を用いた健康サポート、食生活(食品・健康食品)サポート、医薬品の適正使用に関する相談等	5.1	-	-
16	香川県	セルフメディケーション相談・啓発事業、簡単な自己検査による健康サポート事業	5.1	-	-
17	長崎県	関係職種が一体となった健康情報拠点推進事業の展開、住民自らの健康チェック検査の支援・対応	5.1	-	-
18	鹿児島県	薬の飲み方や使い方など医薬品の適正使用に関する相談、食生活(食品・健康食品)に関する健康サポート、飲み残しや飲み忘れ防止等の高齢者・要介護者に対する服薬管理	5.1	-	-
19	広島県	在宅医療支援薬剤師養成研修プログラムの策定及び研修会の実施、「健康づくり支援薬局」モデル事業の実施	5.1	-	-
20	富山県	血圧計などの検査機器を用いた健康サポート、特定健診、がん検診等の受診率向上の取組	5.1	-	-
21	熊本県	薬の飲み方や使い方など医薬品の適正使用に関する相談、食生活(食品・健康食品)に関する健康サポート、血圧計などの検査機器を用いた健康サポート、薬物やアルコールの乱用・依存を防止するための健康サポート、禁煙サポート	5.1	-	-